

ID:

患者氏名

さん

経過	入院日	入院2日目	経皮的血管形成術当日(治療前)	経皮的血管形成術当日(治療後)	4日目(治療後1病日)	5日目(退院日)	
日付	月 日 ()	月 日 ()	月 日 ()		月 日 ()	月 日 ()	
目標	治療の内容が理解でき、 検査・治療を受けることができる。	治療の内容が理解でき、 検査・治療を受けることができる。	予定通りに治療が終了することができる。		合併症出現なく経過できる。	退院指導の内容がわかる。	
説明・指導・教育	<ul style="list-style-type: none"> ・医師より治療の説明を行います。 ・看護師が入院生活及び治療の説明を行います。(説明後、承諾書を記入し、提出して下さい)(医師・看護師の説明でわからないこと、心配なことがあれば何でもお話し下さい) ・御希望により、栄養指導・服薬指導が受けられます。 	医師・看護師の説明でわからないことがあれば何でもお話しください	<ul style="list-style-type: none"> ・治療中ご家族の方は病棟でお待ちください。 		<ul style="list-style-type: none"> ・医師から治療結果について説明があります。 ・カテーテルを挿入した足は6時間は曲げないでください。6時間たてば寝返りや座ることができます。 ・患者さんが落ち着かれましたら、ご家族の方は帰宅可能となります。 	 	<ul style="list-style-type: none"> ・退院指導を行います。 ・医師から検査の経過と今後の内服などについて説明があります。(治療直後に行うこともあります) ・退院後の生活で、不安な点があれば遠慮なくお聞きください。
治療処置	<ul style="list-style-type: none"> ・身長・体重を測ります。 ・体温・脈拍・血圧を測ります。 ・足背の動脈と大腿の動脈の拍動を観察し印をつけます。 ・手首の動脈(正中・橈骨)の拍動を観察し印をつけます。 ・治療に必要な部位(橈骨または大腿)を必要時除毛します。 		足から治療する場合 <ul style="list-style-type: none"> ・治療前に点滴を開始します。 ・治療の前に排尿し、検査着に着替えます。 	手首・肘から治療する場合 <ul style="list-style-type: none"> ・治療前に肘や手首に麻酔のテープを貼ります。 ・治療前に点滴を開始します。 ・治療の前に排尿し、検査着に着替えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・点滴を継続します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カテーテルを入れた部位の消毒を行います。 ・治療翌日に採血と四肢血圧脈波検査を行います。 ・症状がなければ留置針を抜去します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カテーテルを入れた部位の消毒を行います。
検査	<ul style="list-style-type: none"> ・採血・胸部X線撮影・心電図の検査を行います。 ・心臓超音波検査、四肢血圧脈波検査を行うこともあります。 						
生活行動	<ul style="list-style-type: none"> ・生活に制限はありません。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ベッドで1階のカテーテル検査室へ向かいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・治療後はベッド上で安静にしてください。 ・治療後は、医師の指示でトイレまで歩くことができます。 			
清潔	<ul style="list-style-type: none"> ・毛を剃った後、入浴またはシャワー浴ができます。 				<ul style="list-style-type: none"> ・傷の状態に異常がなければシャワー浴できます。 		
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・治療食となります。(カロリー・塩分制限) ・水分に制限はありません。 		 <ul style="list-style-type: none"> ・午前治療は朝食が出ません。 ・午後治療は昼食が出ません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・治療後、吐き気がなければ飲水・食事をすることができます。 			
内服薬	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで飲んでいた薬を変更することがあります。 					<ul style="list-style-type: none"> ・退院時内服処方が必要に応じ出ることがあります。 	
観察				<ul style="list-style-type: none"> ・カテーテルを入れた所の出血の有無を確認します。 ・止血用のバンドがきつすぎないか確認します。 ・帰室後1時間毎に3回、体温・脈拍・血圧・橈骨動脈の拍動の観察を行います。 			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・治療の状況により、両側の足の付け根の動脈からの治療になる可能性もあります。 			<ul style="list-style-type: none"> ・治療終了後、造影剤を早く排泄するために、水分(お茶・水)を多めにとりましょう。 			
備考							

注) 予定等は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることがあります。